

大分県内留学生における卒業後の正社員雇用・就職に
関するアンケート調査報告

2007年12月

大分経済同友会 国際委員会

大学コンソーシアムおおいた

はじめに

近年、経済の国際化が進展する中で、日本の大学等で学ぶ外国人留学生が増加するとともに、さらにはそこで学んだ知識や技術を生かして、卒業後にそのまま日本で就職することを希望する留学生もますます増加している。

一方、企業においても、その活動が分野を問わず国際化していることに伴い、国際的な企業活動を担う人材を確保する観点から、企業規模を問わず留学生の採用に対する動きも強まっている。

このような状況を踏まえて、政府としても経済の活性化や国際化を図る観点から、専門的、技術的分野の外国人労働者の受入れの一環として留学生の就職支援を充実させてきており、こうした取組みは、その出身国への技術移転や経済発展に寄与する人材の養成に資するものと期待されると同時に、留学生が働くための環境整備は、日本人にとっても魅力の高い就労・生活環境をつくることであり、日本社会の活性化に繋がるとされている。

大分県内に在住する留学生は年々増加して、2007年は3,700人強に達し、人口比率においては東京都に次いで全国第2位となっている。出身国、地域も異なる多くの優秀な外国人留学生が県内の高等教育機関に在籍し、それぞれに専門分野を学んでいる事実は、まさに他県にはない貴重な大分独自の資産であり、彼らを大分の活性化に活用すべく、すでにいろんな分野において各種の取り組みが検討、実施されはじめています。

このような状況の中で、県経済界においても、留学生の県内企業への就職を円滑に進めることの必要性が高まっており、留学生自身の努力はもちろん、企業、就職支援機関等関係者による環境整備と支援策の充実が期待される。

しかしながら、現状では、経験不足のうえに、留学生と企業の間での求人、求職のための必要情報の効率的な相互把握が不足し、その間でミスマッチが生じている状況がみられ、こうした問題の解決が円滑な留学生の就職支援にとって極めて重要であることが明らかになった。

以上のような問題意識から、このたび大分経済同友会の会員企業と、大学コンソーシアムおおいとの協力を得て、企業を対象にして留学生を正社員としての採用することの意識や問題点等、ならびに県内大学の大学院・学部等に留学している留学生で、留学終了後に日本企業への就職を希望する留学生を対象に、就職意識や将来設計等のアンケート調査をそれぞれに実施し、実態と問題点を明確にすることとした。

本報告書が今後、大分県内における留学生の支援事業、特に就職支援策の充実・強化の参考になれば幸いである。

以上

平成19年12月

大分経済同友会

国際委員会 委員長 橋本 均

目 次

1. アンケート調査概要	1
2. アンケート調査結果分析	2
3. アンケート調査結果内容	
企業・経営者回答編	7
留学生回答編	12
4. 付録 アンケート調査様式	
企業・経営者用	16
留学生用	18

1. アンケート調査概要

大分県内に在住する留学生は年々増加し、2007年は3,758人、その出身は88の国・地域にのぼる。(11月1日現在 大分県国際交流室調べ)

「大分県の人的財産」である高い能力をもつ彼らについて、在学中に地域交流やビジネスアシスタント、教育など各分野で活躍してもらうことも多くなってきたが、一方、留学生が卒業後、大分県内で就職するにはさまざまな問題点が発生していることも容易に想像される。雇用する側とされる側のギャップを埋め、問題解決を図り「優秀な人材」を県内に残す一助になればと、本調査を実施することとなった。

本調査では、県内企業・経営者に対し、卒業後の留学生を正社員人材としてとらえるか、また、その雇用の意向・問題点などを探るアンケート項目を策定、一方、留学生には、卒業後の進路に関する考え、日本での就職先に関する考え、さらに日本で就職した場合の将来の設計に関する考え、これらについて把握すべく項目を策定した。

調査対象と配布先、回収について (2007年10月実施)

◆ 大分県内企業・経営者むけ

配布物：「留学生の正社員雇用・人材活用に関するアンケート調査」
大分経済同友会会員を対象。238名へ郵送配布、FAX回収。
回答数100。 大分経済同友会事務局集計。

◆ 大分県内留学生むけ

配布物：「卒業後進路・就職に関するアンケート調査」
県内の四年制大学4校(大分大学、別府大学、日本文理大学、立命館アジア太平洋大学)に在学中の留学生を対象。
・就職ガイダンスで配布、回収
・留学生課で配布、回収
・日本語授業中に配布、回収 等の方法で、約250名に配布。
回答数233。 大学コンソーシアムおおいた集計。

※ 今回のアンケート調査及び本報告においては、「雇用」とは大学卒業後の留学生を正社員雇用する場合を指し、「留学生」とは、高等教育機関に在籍し、有する在留資格が「留学」の学生であり、「留学生人材」とは留学生が卒業して正社員で就職する場合の人材という意味とする。

2. アンケート調査結果分析

<企業>

- 「外国籍従業員についての現況」を尋ねた項目では、「すでに外国籍の従業員を雇用している」と回答した企業が20社、そのうち半数以上の12社が「日本人学生と同じ条件で募集・選考した」としている。また、次の項目で尋ねた「留学生人材の正社員採用の意向」では、「正社員で採用したい」と回答した企業が33社、採用方法については「日本人学生と同じ条件・方法で選考する」との回答が25社（75%）となっている。

このことから、回答企業の意向・職種などに注意を払う必要があるが、留学生の採用に門戸は閉ざされていない、と明るい材料がみてとれた。がしかし、日本人学生の採用とまったく同じ採用方法で、と考えているとすると、選考の次にある留学生の「在留資格」取得のステップについて、企業は理解と情報収集をする必要がある。

- 「期待すること」については、「新しい発想や国際的能力を社内で発揮してもらいたい」が一番多く、「貿易の円滑化や橋渡しの役割」「海外進出先の管理職に」「将来のビジネスパートナーに」などの回答もあり、必ずしも出身学部こだわるといってもなかった。しかしながら上述の「在留資格」の問題をここでも考慮する必要がある。
- 「留学生は採用しない、できない」と回答した企業は65社、その内49社（75%）は海外取引が無いなどの理由で「現在は採用の必要性がない」との回答。採用の必要性ができたときには、留学生人材に目をむけてもらう、また、将来の事業展開のために先行投資としての人材育成・人材獲得を行うことを啓発していく余地があると受けとめられる。
- 外国籍の人材を正社員雇用する際には、17社が「問題なし」としているが、68社が「懸念・不安がある」としている。

「日本の風土・習慣になじめるか」「自社の習慣・職場環境になじむか、コミュニケーションできるか」「業務上の日本語能力に懸念」「勤続年数に懸念」「雇用の手続き・法的手続きに懸念」などの項目は、それぞれ複数回答ですべて20件以上の回答があり、実態・認識不足も含めて、まだ留学生人材に対する不安がかなり大きいことが窺える。

しかし「職場になじむか」、「コミュニケーションできるか」、「勤続年数に懸念」といった不安は、昨今の若者の離職率の高さからいっても留学生だけに限らない。

また、「日本のビジネス習慣に慣れるか」「日本語能力があるか」などの点は、雇用前にインターン生として受入れることなどで、企業にとっては能力や人材の見極め、留学生本人にとってはレベルアップが図れるであろう。

ビジネス場面に対応できるキャリア形成や日本語能力向上については、社会で求められる人材を教育する立場を担う大学側にも大きな役割があるように思う。

- 勤続形態や年数については、まずは企業側が、日本で長期就労してもらうのが希望なのか、海外展開時に責任者となってもらうなど現地幹部候補なのか、数年後はビジネスパートナーとして独立してもらうのがねらいなのか、など、人材をどう育成し活用していくかの目的を持つ必要がある。その上で、雇用するには企業の目的と留学生の考えが合うかどうか、そして雇用後も、従業員となった外国籍人材の要望をよく把握する体制を整え、ミスマッチ回避を図ることを勧めたい。
- 留学生雇用に関する「法的手続き」つまり「在留資格」取得については、留学生本人が申請することながら企業側の協力、手続きが必要不可欠であり、「在留資格」の取得ならびに就職後も更新していくことの労務については、企業側は十分に認識し法的な義務を果たさねばならない。

また、卒業が秋時期となる留学生人材がいることや、「在留資格」取得のための準備と審査に時間がかかることを考慮した採用活動スケジュールも策定したい。
- 留学生側へのアンケート結果からもわかるが、まだ大分県内では人材を見極める手段としてのインターンシップの利用が広まっていないように思われる。雇用前にインターンシップで受入れをしてみることは、お互いの誤解を解くきっかけにもなり、留学生が就職についてどう感じているか、どんな問題があるか、実際に接すると個々に事情が違うということが判明し、企業側の準備や体制作りにも一助となり得るだろう。

＜留学生＞

- 「留学理由」「留学先（日本・大分）を選んだ理由」などについては、「国際的な環境、キャリアアップのため」そして「日本文化に関心がある」、「所属大学に魅力があった、学びたい学部があった、母国の学校の推薦があった」などが大半を占めた。大分県内大学の学生募集活動の結果だといえる。
- 「留学してきた当初、卒業したらどうしたいと欲っていたか」という項目については、「日本国内で就職したい」との回答が 40%、27%が「母国に帰って進学か就職したい」となっていた。

その次の項目、「今現在は、卒業したらどうしたいと考えているか」については、「日本国内で就職したい」が実に 60%に増え、「母国に帰って進学か就職したい」あるいは「日本国内でさらに進学したい」という回答は減っている。これは調査した4つの大学の留学生すべての回答で見られる傾向であり、入学時も40%が日本で就職したいと考えているが、高学年になるにつれさらに日本での就職を望むといえる。
- 「日本で就職したい」と回答した留学生を対象にした、「日本で就職したい理由」についての回答では、「大学で学んだことや専門を活かせる職場があると思うから」が28%、「日本が好きなので日本での生活を続けたい」が26%、「将来のキャリアのため、ステップとして」が37%と、この3つの回答が高い数値となり、「給料・待遇がいいと思うから」という9%の回答をはるかに上回った。

「就職先の企業を選ぶ基準」という項目では41%が「将来自分のキャリアアップのためにノウハウを学べる企業がいい」と回答、次いで「大学で学んだこと、専門を活かした仕事ができる企業」21%、「大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業」19%となった。

「高い給料を一番の基準とする」6%、「大企業（知名度の高さ）がいい」9%という回答と比べても、留学生は給料やブランドに惹かれて就職したいのではない、とみてとれる。

「勤務地」についての項目では「東京や大阪など大都市に行きたい」が41%と高い数値であったが、大都市の魅力と企業の多さとの両面で致し方ないのかもしれない。しかし同じような割合で43%が、「自分のやりたい仕事ができるなら場所はどこでもいい」と回答しており、「仕事内容」を優先する留学生がかなり多いとわかった。
- 「希望する職種」の項目では、営業や人事・総務を望む学生が多いが、「在留資格」の要件である「業務の専門性」との関連を考慮に入れる必要がある。
- 「日本で就職した場合将来どうしたいか」の項目では、52%が「何年かしたら母国に帰る」と回答。生涯日本に居るのではなく、やはりキャリアのためのステップと考えているとみてとれる。がしかし、「ずっと日本で働きたい」という回答も27%と少ない数値ではなく、個人個人の思いがあると伺える。

「何年かしたら母国に帰る」とした留学生のうち、3年～5年くらいと考えている留学生が多く、企業側が採用する際にはその勤続年数部分のヒアリングをよく行い、企業ニーズとマッチさせる必要がある。

- 「日本で就職する場合の不安な点」の項目では、「仕事をうまくやطيعけるか」19%、「社員とうまくコミュニケーションできるか」23%、「自分の日本語能力が通用するか」19%、「将来のキャリア形成がうまくいくかどうか」19%とこの4つの回答が同じような割合、複数回答で多く寄せられ、留学生は不安を抱えて就職活動をしていると言える。
在学中のインターンシップ体験や大学のキャリア教育、ジョブカフェ等を利用した面接練習など自己啓発につとめつつ、留学生人材としての自己の魅力を磨いて欲しい。また、自分の将来設計についてもよく考え、就職活動の際には将来展望をもって欲しい。
- 「就職活動の際なにが必要だと思いますか」の項目では、「自分の語学能力・経験がまだ足りないのでレベルアップが必要」37%、「就職活動の方法そのもの、就職した先輩からの話を聞きたい」30%、「求人している企業の情報を知りたい」21%、「在留資格や社会的手続きを知りたい」11%となり、留学生は日本語能力向上と情報が必要だと十二分に認識している。これらについては、大学や関連機関の様々なツールの開発と情報収集・提供が求められていると言える。

<まとめ>

企業側の「雇用するには懸念がある」の回答で見られる内容は、同時に、留学生の「日本で就職する場合の不安」と同じ内容となった。企業側も、留学生側も、同じ不安を持っているとわかる。

(1)「日本語能力やコミュニケーション能力」については、留学生はより一層の自己能力のレベルアップを図っていくべきであり、企業側は、どの程度の能力を求めていくか雇用前に計画をたてるべきである。積極的にインターンシップやビジネスアルバイトなどで人材に出会って交流し、お互いにコミュニケーションを図っていくと良いだろう。

(2)「勤続年数」に関しては、企業側のニーズも、留学生の思いも、多岐にわたることがわかった。それぞれ短期的・長期的に将来設計をし、就職活動時に十分に相互の意思を確認して、選考時にミスマッチを避ける対応をしたい。

(3)「在留資格」については、変更にも、更新にも、申請手続きが必要となる。申請者となる留学生はもちろん、企業側も準備と対応をしなければならないが、それでも余りある魅力として留学生人材が認知され、採用側の意識改革がなされていくことを望む。更には、優秀な人材が日本・大分で就労するという事は、企業の活性化、大分県の活性化、ひいては日本経済の活性化につながることであり、日本で学び、日本で就労したいという人材が企業に望まれて雇用される場合の、何らかの法的緩和も国に期待する。

(4)「人材育成」、「求人情報」については大学や関係機関の支援や啓発活動が必要である。いずれにせよ、多くの情報、多くの経験を広く共有し、「留学生人材」に関する思い違いや思い込みを無くす活動を推進していく必要があると思慮する。

以上

留学生 正社員雇用・人材活用に関するアンケート調査 <企業向け>

2007年10月実施 大分経済同友会メンバーむけ 計100回答

1. 業種について

回答数 計100

A 製造業 18社							B 非製造業 82社											
機械・電気	IT	コンピュータ	金属・鉄鋼	自動車等運送機器	化学製品	食品	その他	商業・貿易	教育関連	観光	金融・保険	ホテル・旅館	旅行	運輸	土木・建築	情報サービス	人材派遣	その他
1	1	2	1	1	6	6		17	3	2	12	7	1	6	14	8	1	11

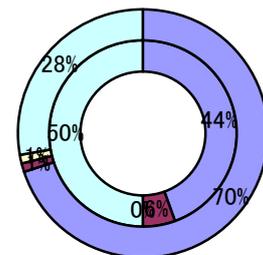
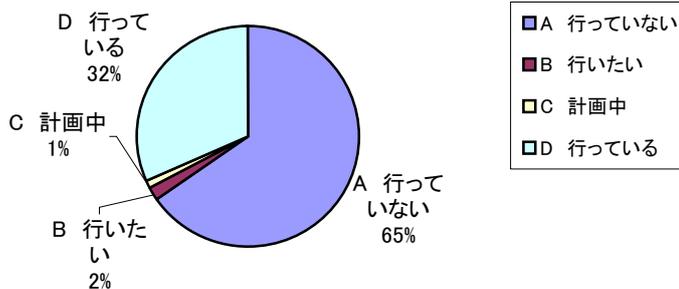
2. 海外との取引について

回答数 計101

66	A 行っていない (製造業8 非製造業58)	
2	B 行いたいと思っている (製造業1 非製造業1)	
1	C 行う予定・計画中 (非製造業 1)	1 商品・製品部品の輸出
		2 商品・製品部品の輸入
		1 業務提携
32	D 行っている (製造業 9) (非製造業 23)	10 商品・製品部品の輸出
		14 商品・製品部品の輸入
		6 サービスの提供
		9 業務提携
		5 工場や支店の進出
		6 その他 (商社を通して 2)

全体回答 海外取引について

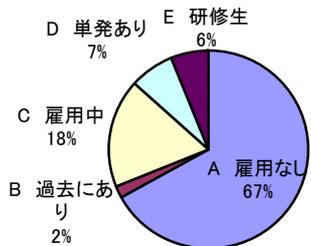
内輪 : 製造業 外輪 : 非製造業



3. 外国籍の従業員についての現況

回答数 計112

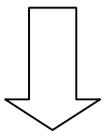
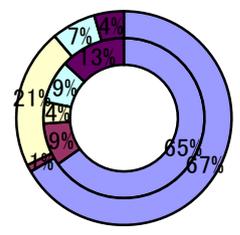
75	A 外国籍の正社員の雇用はない (製造業15 非製造業60)
2	B 過去に雇用していたが現在は雇用していない (製造業2 非製造業1)
20	C 外国籍の正社員を雇用している (製造業1 非製造業 19)
8	D 正社員ではないがパート・アルバイト・単発の通訳や 翻訳なら外国籍の人材を雇用している (製造業2 非製造業 6)
7	E 外国からの技術研修生を受け入れている (製造業3 非製造業4)



全体回答

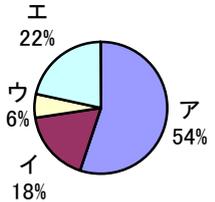


内輪:製造業 外輪:非製造業

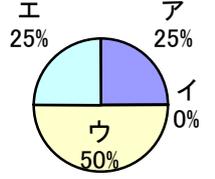


それぞれの内容についての回答

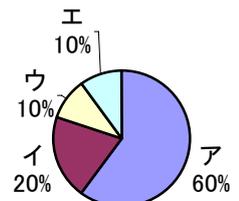
75	A 外国籍の正社員の雇用はない	28	ア) 自社には貿易や国際業務がないから
		9	イ) 貿易や国際業務はあるが正社員雇用までは至らないから
		3	ウ) 正社員雇用の手続きが不明・面倒だから
		11	エ) 外国籍従業員については不安・懸念があるから



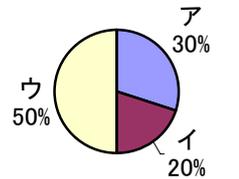
2	B 過去に外国籍の正社員を雇用していたが、現在は雇用していない	1	ア) 自社の貿易や国際業務が縮小したから・なくなったから
		0	イ) 社風・方針にあわない、日本語能力等が足りない、などで退職となった
		2	ウ) 本人の個人的事情があつて退職したから
		1	エ) 在留資格(就労ビザ)の更新ができなかったから



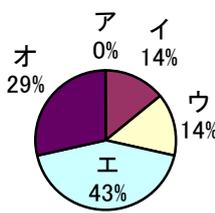
20	C 外国籍の正社員を雇用している	12	ア) 日本人と同じ条件で募集・選考し、結果として外国籍の人物を雇用した
		4	イ) 必要に応じて外国籍人材を公的機関などを通じ募集、選考して雇用した
		2	ウ) 必要に応じて外国籍人材を探し、知人などから紹介してもらい雇用した
		2	エ) その他の雇用理由(アルバイトから正社員へ。面接で選考)



8	D 正社員ではないがパート・アルバイト・単発の通訳や翻訳なら、 外国籍の人材を都度雇用している	3	ア) 将来、正社員としたい・自社の今後の事情により正社員雇用もあり得る
		2	イ) パートやアルバイト、単発での通訳や翻訳 という対応で間に合っている
		5	ウ) その他(データ入力、接客、契約社員 各1回答)



7	E 外国からの技術研修生を受け入れている	0	ア) 即戦力・若い力として受入れている
		1	イ) 将来的に外国籍の正社員雇用を検討する前段階として受入れている
		1	ウ) 自社と取引ある国・取引予定国からの研修生を受入れ、技術指導中
		3	エ) 国際貢献として受入れている
		2	オ) その他受入れの理由(生産人員の安定化のため、依頼された 各1回答)

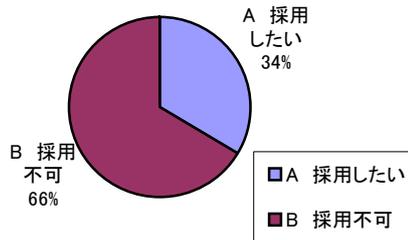


4. 留学生人材について、正社員採用の意向

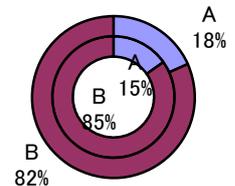
回答 計98

33	A 正社員で採用したい (製造業5 非製造業28)
65	B 留学生は採用しない・採用できない (製造業12 非製造業53)

全体回答



内輪:製造業 外輪:非製造業



それぞれの内容についての回答

A	正社員で雇用したい (製造業 4、非製造業21)	
33	25	ア)日本人学生と同じ条件、同じ採用方法で自由にエントリーしてもらい、選考する
	8	イ)「留学生」を積極的に採用したい (製造業 1、非製造業 7)

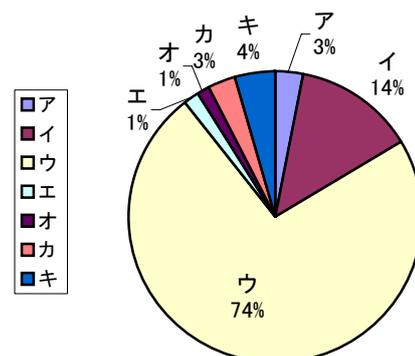
求める人材	複数回答	1	理系 (工学、建築、ITなど) (非製造業 1)
		6	文系 (経済、商業、観光など) (製造業 1、非製造業5)
		4	学部に関係なく留学生の国籍・母語を必要とする (製造業 1、非製造業3)
		1	その他 (国際化のため極力多様な国から採用する) (非製造業 1)

期待すること	複数回答	3	自社の取引国・取引予定国との貿易の円滑化や橋渡しの役割 (製造業1、非製造業2)
		2	海外進出先(予定先)の、支社や工場の管理職になってもらいたい (製造業1、非製造業1)
		2	将来、退職後母国に帰ってから、ビジネスパートナーになってもらいたい (非製造業2)
		8	新しい発想や国際的能力を社内で発揮してもらい活性化につなげたい (製造業1、非製造業7)
		2	その他 (技術者・幹部として定着してもらいたい 1 能力の高さに期待) (非製造業2)

勤続年数	複数回答	1	最低1年間は勤務してもらいたい (非製造業 1)
		2	最低3年間は勤務してもらいたい (非製造業 2)
		5	最低5年間は勤務してもらいたい (製造業 1、非製造業 4)
		3	最低10年間は勤務してもらいたい (製造業 1、非製造業2)
		1	最低20年間は勤務してもらいたい (非製造業1)

B	留学生は採用しない・採用できない		
65	複数回答	2	ア)留学生は人材として期待していない
		9	イ)採用にあたって問題や懸念がある
		49	ウ)現在は採用の必要性がない
		1	エ)採用したいが応募がない
		1	オ)採用したいが社内の準備が整わない
		2	カ)採用したいが現在は新規採用枠がない
	3	キ) その他	1 言語、習慣、継続に不安。在留手続きが煩雑。 1 携わってもらう業務がない 1 免許・資格の問題

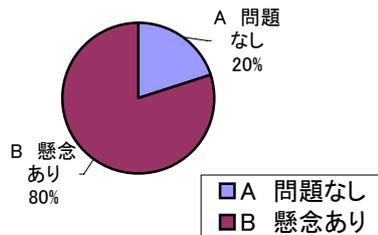
採用不可の理由



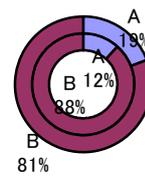
5. 留学生を正社員雇用する際の問題点

回答 計85

17	A 特に問題はない (製造業2 非製造業15)
68	B 懸念・不安がある (製造業13 非製造業55)



内輪: 製造業 外輪: 非製造業



B 懸念・不安がある	
複数回答	23 ア)日本の風土・習慣になじめるか懸念 (製造業6、非製造業17)
	37 イ)自社の習慣・職場環境になじむか、コミュニケーションできるかに懸念 (製造業7、非製造業30)
	23 ウ)業務上・コミュニケーション上必要な日本語能力に懸念 (製造業7、非製造業16)
	20 エ)正社員として勤続年数に懸念 (製造業3、非製造業17)
	22 オ)雇用のための手続・法的手続に懸念 (製造業1、非製造業18)
	3 カ)その他 (職場に必要な能力、資格などの問題、異動の問題) (製造業1、非製造業2)

6. 正社員採用の他に、留学生人材を活用する方法としての意向

回答 計75

28	複数回答	A ビジネスで必要があるときに、仕事を頼みたい
		15 翻訳 (企業情報や商品パンフレット、ホームページ、引き合いメールなど)
		19 通訳 (海外からの来客時対応、海外出張や展示会への同行など)
		8 調査 (対象の国の情報検索や企業探し、対象国の嗜好調査など)
		1 その他 (内容未記入)

22	複数回答	B インターンシップ生として受入れたい
		8 将来、正社員雇用する前段階的な研修として
		1 海外出張や展示会に同行してもらう前の事前研修として
		7 社内活性化のため・新しい意見やアイデアを得るため
		9 企業PRの一つ、国際貢献の一つとして
		1 その他 (すでに受入れている)

インターン生受入れ期間について	4	1週間
	3	2週間
	1	3週間
	5	1ヶ月
	2	他 (3ヶ月くらい / 1週間から1ヶ月の間)

25	複数回答	C その他の留学生人材の活用方法
		6 従業員向け語学研修の講師など実務以外のところで活用
		18 国際交流や文化交流の必要があるときに活用
		4 その他 (契約社員としてなら、短期アルバイトなら 各1回答) (語学力や人脈など専門性を活かす職場(別体系)で活用なら)

7. 留学生の正社員雇用について・留学生人材についてのご意見や問題点、ご相談

回答19

- 1 留学生の実態が不明。接触がない。交流の機会が必要。(金属・鉄鋼)
- 2 外国人の雇用に対して調査・アンケート等強制的な依頼が多く面倒なことが多発するためできれば雇用等を控えたい(製造業)
- 3 特に留学生を区別して採用は行わない。日本人学生と同時の専攻で問題ないと考えている(製造業その他)
- 4 当社は国籍管理を行っていないので外国籍の方も日本人学生と同様にエントリー可能である。
正社員としての雇用は継続的な勤務が可能であることが望ましいと考える。(製造業その他)
- 5 支店業務上ニーズはないが、本社・支社(海外を含む)にてニーズあり。たとえばインド支社で検討中。(商業・貿易)
- 6 留学生はどのくらいの期間こちらで勤務するつもりなのか。(商業・貿易)
- 7 初めてのことなので不安がある。(商業・貿易)
- 8 従来より国内学生を同条件で新卒採用の選考を行っているが、受験者はあるものの結果として合格者は実現していない。
企業として積極的に正社員雇用を実現するには若干の障害もあると考えるが、個人的には国内学生よりもむしろ
勤勉な外国学生の能力発揮に大きな期待を寄せている。(金融・保険)
- 9 日本語の理解力、特に文章を書けることが日本の企業には求められる。(金融・保険)
- 10 採用した外国人がその出身地域と当行及び大分県の架け橋となることで、経済面、文化面を含め直接的な国際交流の
進展が期待され、地域貢献の一環となりうることから毎年継続的に外国人の採用を行っている。(金融・保険)
- 11 インターンシップの定期的受け入れ、実習生、協力してきた。バイト等含めてやはり個人の人の柄や資質であり、いい人材で
あれば採用及び活用していきたい。(ホテル・旅館)
- 12 大分支店での採用は委託先からの契約社員。そこでは国籍は問われない。(運輸)
- 13 これまで外国籍の方の応募はないが、仮にあったら能力・資質により適正に選考する。海外への事業進出を着手し始めた
ところであり、今後国際化に対応できる人材育成が必要と考える。
留学生人材を活用できる方策についても考えていきたい。(土木・建築)
- 14 現状の法規制の下、当社の希望する長期間雇用(20年)が可能だろうか。(土木・建築)
- 15 ビザが下りても短期間だけと聞いている。そこが問題。(土木・建築)
- 16 現在のところ受け入れ態勢ができていない。今後当社が求める人材としての確な留学生がいれば考える余地あり(情報サービス)
- 17 東京本社での採用。基本的に東京で専門能力を発揮してもらっている。(非製造業その他)
- 18 当社では販売先・顧客との密接な関係が必要であるため、受入れには難しい点はあるが、体制を整えば社内活性化等の
ため、検討したいと考える。(非製造業その他)
- 19 当社の場合は技術・資格と経験が必要なため、継続勤務年数が長く必要なので採用に不安がある。(非製造業その他)

留学生 卒業後進路・就職に関するアンケート調査 <留学生向け>

2007年10月実施 大分大、別府大、日本文理大、APU 計233回答

1. 出身・性別・所属等について

A 出身国	中国	韓国	タイ	ベトナム	台湾	インド	インドネシア	モンゴル	スリランカ	ネパール	ミャンマー	マレーシア	ブルンジ	ウズベキスタン	アメリカ	デンジャ	ギニア	エストニア	フィリピン
計 233	118	45	14	10	8	7	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1

地域 (中国のみ分類)	遼寧省	山東省	上海市	吉林省	江蘇省	天津市	広東省	河南省	河北省	内モンゴ	黒龍江省	湖北省	福建省	陝西省	江西省	安徽省	雲南省	四川省	北京市	重慶市	ウイグル	香港	未記入
計 118	18	17	14	11	9	6	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	9

B 性別	計 233	女性	122	男性	111
------	-------	----	-----	----	-----

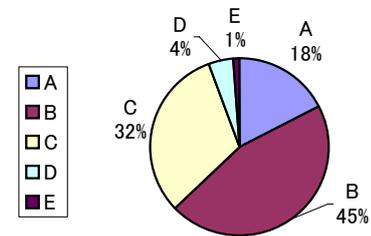
C 所属大学	計 233	立命館アジア太平洋大学	82	日本文理大学	61	別府大学	56	大分大学	34
--------	-------	-------------	----	--------	----	------	----	------	----

学部	計 233	182	文系学部(文学、教育福祉、経済、経営)
		23	理系学部(工学部)
		20	大学院/文系(経済、経営、教育)
		8	大学院/理系(工学)

学年	4	1年
計 233	4	2年
	99	3年
	98	4年
	15	院 1年
	13	院 2年

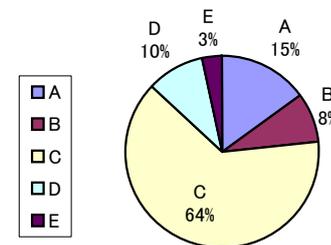
2. 留学をしようと思った理由 複数回答。回答数 計 291

51	A	自分が学びたい大学や学部に進学するため
132	B	国際的・異文化な環境で学ぶため
92	C	将来のキャリアアップの足がかりのため
13	D	知人に勧められた・日本に知人がいる
3	E	その他
		2 日本・日本語に強い関心があるから
		1 奨学金を得ることができたから



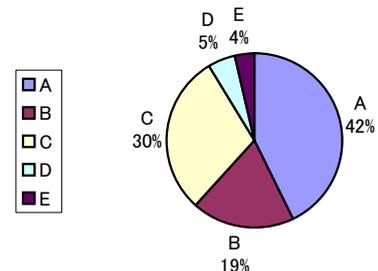
3. 留学先に日本を選んだ理由 複数回答。回答数 計 260

39	A	学びたい大学や学部が日本にあったから
22	B	母国から近いから
165	C	日本文化や日本の社会に関心があるから
25	D	知人や親戚が日本にいるから
9	E	その他
		3 奨学金を得ることができたから
		2 大学間の協定があったから
		2 学ぶのに良い環境と知識があるから
		1 日本が気に入る、二度目の留学
		1 内容未記入



4. 留学先に大分県を選んだ理由 複数回答。回答数 計 243

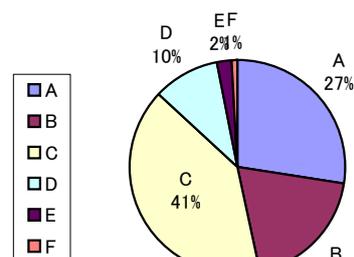
104	A	今の所属大学に魅力があった・学びたい学部があったから
46	B	知人・親戚などが大分にいる、または大分県を勧められた
72	C	母国の高校や大学の推薦があったから
12	D	母国から近い九州地域で大学を探したから
9	E	その他
		5 奨学金が得られたから
		3 内容未記入
		1 気候がいいから



5. 留学してきた当初、1年生の時は、卒業したらどうしたいと思っていましたか？

複数回答。回答数計 270

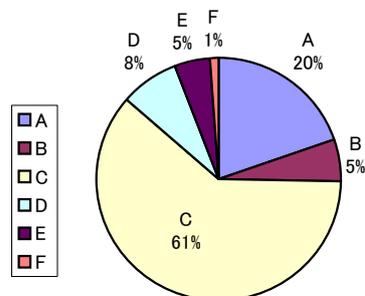
74	A 母国に帰って進学、または就職したい	
	35	母国にある日系企業で就職したい
	41	企業は未定だが母国で日本との架け橋となる仕事がしたい
52	B 日本国内でさらに進学したい	
109	C 日本国内で就職したい	
27	D 母国以外、日本以外で進学または就職したい	
6	E 起業したい	4 母国で起業したい
		2 日本で起業したい
2	F その他 内容未記入	



6. 今現在は、卒業したらどうしたいと考えていますか？

複数回答。回答数計 301

54	A 母国に帰って進学、または就職したい	
	21	母国にある日系企業で就職したい
	33	企業は未定だが母国で日本との架け橋となる仕事がしたい
15	B 日本国内でさらに進学したい	
168	C 日本国内で就職したい	
21	D 母国以外、日本以外で進学または就職したい	
13	E 起業したい	9 母国で起業したい
		2 日本で起業したい
		2 場所は未記入
3	F その他 内容未記入	



7. 大分県内でアルバイト、インターンシップなどをしたことがありますか？

回答数計 215 アルバイトをしたことがある

55	国籍や語学力を活かしたアルバイトの経験がある
169	国籍を問わない通常のアルバイトの経験がある

回答数計 15 インターンシップをしたことがある

場所	12	大分市内
	2	別府市内
	1	場所未記入

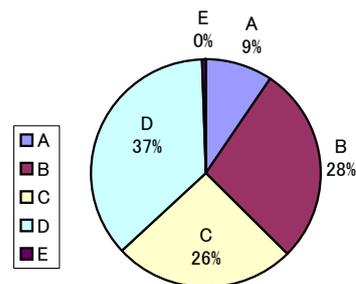
期間	5	1週間
	3	2週間
	3	3週間
	1	4週間
	2	10週間
	1	期間未記入

業種	3	観光・旅行業
	3	IT関連業
	2	食品製造業
	1	金融・保険業
	1	食品製造業
	1	建築業
	1	販売業(品目は不明)
	2	製造業(品目は不明)
1	業種未記入	

8. 日本で就職したい人におたずねします。(6. の設問で「日本国内で就職したい」と回答した168人を対象)

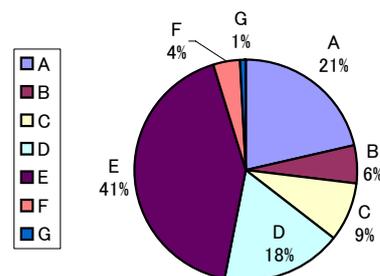
【どうして日本で就職したいのですか?】 複数回答。回答数計 235

22	A	給料・待遇がいいと思うから
66	B	大学で学んだことや自分の専門を活かせる職場があると思うから
60	C	日本が好きなので、日本での生活を続けたい
86	D	将来のキャリアのため、母国・他国で働く前のステップになると思うから
1	E	その他 母国との文化の違いを理解し、たくさん経験をつみたいから



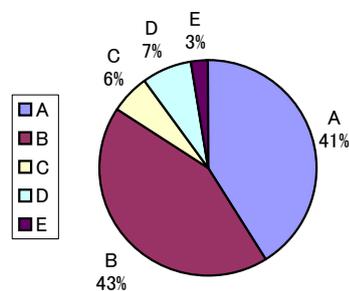
【就職先の企業を選ぶ基準は?】 複数回答。回答数計 234

50	A	大学で学んだことや、自分の専門を活かした仕事ができる企業
13	B	高い給料を一番の基準とする
20	C	大企業(知名度の高さ)
41	D	大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業
99	E	将来、自分のキャリアアップのためになりそうなノウハウを学べる企業
9	F	日本で就職できるならどんな企業でも就職したい
2	G	その他
		1 母国となにか関連のある企業
		1 内容未記入



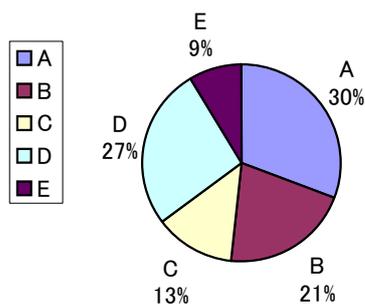
【勤務地について】 複数回答。回答数計 190

78	A	東京や大阪など大都市に行きたい
82	B	自分のやりたい仕事ができるなら、場所はどこでもいい
11	C	大分県内がいい
14	D	九州内がいい
5	E	その他
		1 九州か母国かのどちらか
		1 関東地区がいい
		1 東京以外ならどこでも
		1 北海道
		1 内容未記入



【希望する職種は何ですか?】 複数回答。回答数計 221

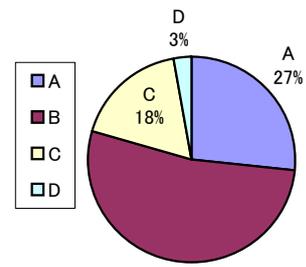
68	A	営業
46	B	開発・研究
29	C	経理・財務
59	D	人事・総務
19	E	その他
		7 貿易関係・物流
		1 設計
		1 通訳
		1 観光サービス
		1 福祉サービス
		8 内容未記入



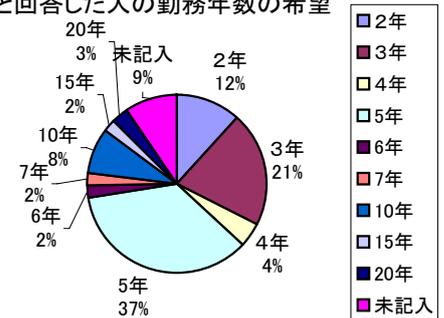
【日本で就職した場合、将来はどうしたいですか？】

複数回答。回答数計 180

48	A ずっと日本で働きたい	
95	B 何年か勤務したら母国に帰る	
	11	2年くらい後
	20	3年
	4	4年
	34	5年
	2	6年
32	C 何年か勤務したら起業したい	
	2	2年
	3	3年
	11	5年
	9	10年
	1	15年
5	D その他	
	2	将来、また進学や研究などしたい
	3	内容未記入



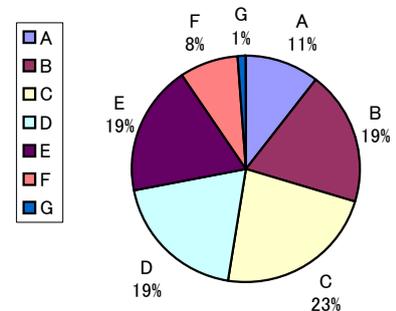
Bと回答した人の勤務年数の希望



【日本で就職する場合、不安なことは何ですか？】

複数回答。回答数計 285

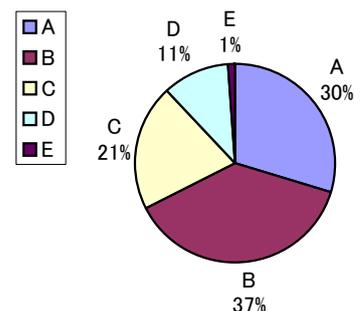
30	A 給料や福利厚生などの待遇	
55	B 仕事をうまくやっていけるか、ずっと雇用してくれるかどうか	
65	C 社員とのコミュニケーションがうまくできるかどうか	
55	D 自分の日本語能力が通用するかどうか、上達するかどうか	
53	E 将来の展望・キャリア形成がうまくいくかどうか	
24	F 在留資格(就労ビザ)の更新ができるかどうか	
3	G その他	
	2	働き方の文化の違い
	1	内容未記入



【日本での就職活動をする時に、何が必要だと思いますか？】

複数回答。回答数計 295

88	A 就職活動の方法を知りたい、就職した先輩からの話を聞きたい	
111	B 自分の語学能力・経験がまだ足りないのでレベルアップが必要	
61	C 求人している企業の情報を知りたい	
32	D 在留資格(就労ビザ)や社会的な手続きについて知りたい	
3	E その他	
	1	文化の違いの問題解決
	1	求められる人物像の情報
	1	就職準備・就職活動する時間



留学生 正社員雇用・人材活用に関するアンケート調査 <企業向け>

1. 業種について

- A 製造業
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 機械・電気 | <input type="checkbox"/> コンピュータ等・IT | <input type="checkbox"/> 金属・鉄鋼 | |
| <input type="checkbox"/> 自動車等運送機器 | <input type="checkbox"/> 化学品 | <input type="checkbox"/> 繊維・衣料 | |
| <input type="checkbox"/> 食品 | <input type="checkbox"/> その他製造() | | |
- B 非製造業
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 商業・貿易 | <input type="checkbox"/> 教育関連 | <input type="checkbox"/> 観光 | <input type="checkbox"/> 飲食 |
| <input type="checkbox"/> 金融・保険 | <input type="checkbox"/> ホテル・旅館 | <input type="checkbox"/> 旅行 | <input type="checkbox"/> 運輸 |
| <input type="checkbox"/> 土木・建築 | <input type="checkbox"/> 調査研究 | <input type="checkbox"/> 医療 | |
| <input type="checkbox"/> 情報サービス | <input type="checkbox"/> 人材派遣 | <input type="checkbox"/> その他() | |

2. 海外との取引について

- A 行っていない
- B 行いたいと思っている
- C 行う予定・計画中
- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 商品・製品部品の輸出 | <input type="checkbox"/> 商品・製品部品の輸入 |
| <input type="checkbox"/> サービスの提供 | <input type="checkbox"/> 業務提携 |
| <input type="checkbox"/> 工場や支店の進出 | <input type="checkbox"/> その他() |
- D 行っている
- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 商品・製品部品の輸出 | <input type="checkbox"/> 商品・製品部品の輸入 |
| <input type="checkbox"/> サービスの提供 | <input type="checkbox"/> 業務提携 |
| <input type="checkbox"/> 工場や支店の進出 | <input type="checkbox"/> その他() |

3. 外国籍の従業員についての現況

- A 外国籍の正社員の雇用はない
- 自社には貿易や国際業務がないから
 - 貿易や国際業務はあるが正社員雇用までは至らないから
 - 正社員雇用の手続きが不明・面倒だから
 - 外国籍従業員については不安・懸念があるから
- B 過去に外国籍の正社員を雇用していたが、現在は雇用していない
- 自社の貿易や国際業務が縮小したから・なくなったから
 - 社風・方針にあわない、日本語能力等が足りない、などで退職となった
 - 本人の個人的事情があって退職したから
 - 在留資格(就労ビザ)の更新ができなかったから
 - その他の理由()
- C 外国籍の正社員を雇用している
- 日本人と同じ条件で募集・選考し、結果として外国籍の人物を雇用した
 - 必要に応じて外国籍人材を公的機関などを通じ募集、選考して雇用した
 - 必要に応じて外国籍人材を探し、知人などから紹介してもらい雇用した
 - その他の雇用理由(採用の方法)
- D 正社員ではないがパート・アルバイト・単発の通訳や翻訳なら、外国籍の人材を都度雇用している
- 将来、正社員としたい・自社の今後の事情により正社員雇用もあり得る
 - パートやアルバイト、単発での通訳や翻訳 という対応で間に合っている
 - その他()
- E 外国からの技術研修生を受け入れている
- 即戦力・若い力として受入れている
 - 将来的に外国籍の正社員雇用を検討する前段階として受入れている
 - 自社と取引のある国・取引予定の国からの研修生を受け入れ、技術指導をしている
 - 国際貢献として受入れている
 - その他受入れの理由()

4. 留学生人材について、正社員採用の意向

A 正社員で採用したい

ア) 日本人学生と同じ条件、同じ採用方法で自由にエントリーしてもらい、選考する

イ) 留学生を積極的に採用したい

- | | |
|-------|---|
| 求める人材 | <input type="checkbox"/> 理系(工学、建築、ITなど) |
| | <input type="checkbox"/> 文系(経済、商業、観光など) |
| | <input type="checkbox"/> 学部に関係なく留学生の国籍・母語を必要とする |
| | <input type="checkbox"/> その他() |

- | | |
|--------|--|
| 期待すること | <input type="checkbox"/> 自社の取引国・取引予定国との貿易の円滑化や橋渡しの役割 |
| | <input type="checkbox"/> 海外進出先(予定先)の、支社や工場の管理職になってもらいたい |
| | <input type="checkbox"/> 将来、退社後母国に帰ってから、ビジネスパートナーになってもらいたい |
| | <input type="checkbox"/> 新しい発想や国際的能力を社内で発揮してもらい活性化につなげたい |
| | <input type="checkbox"/> その他() |

継続勤務について → 最低()年勤務してもらいたい

B 留学生は採用しない・採用できない

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 留学生は人材として期待していない | <input type="checkbox"/> 採用したいが応募がない |
| <input type="checkbox"/> 採用にあたって問題や懸念がある | <input type="checkbox"/> 採用したいが社内の準備が整わない |
| <input type="checkbox"/> 現在は採用の必要性がない | <input type="checkbox"/> 採用したいが現在は新規採用枠がない |
| <input type="checkbox"/> 他の理由() | |

5. 留学生を正社員雇用する際の問題点

A 特に問題はない

B 懸念・不安がある

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 日本の風土・習慣になじめるかどうか懸念がある |
| <input type="checkbox"/> 自社の習慣・職場環境になじめるか、コミュニケーションできるかに懸念がある |
| <input type="checkbox"/> 業務上・コミュニケーション上必要な、日本語能力に懸念がある |
| <input type="checkbox"/> 正社員として勤続年数に懸念がある |
| <input type="checkbox"/> 雇用のための事務手続き・法的手続きに懸念がある |
| <input type="checkbox"/> その他() |

6. 正社員採用の他に、留学生人材を活用する方法としての意向

A ビジネスで必要があるときに、仕事を頼みたい

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 翻訳 (企業情報や商品パンフレット、ホームページ、引き合いメールなど) |
| <input type="checkbox"/> 通訳 (海外からの来客時対応、海外出張や展示会への同行など) |
| <input type="checkbox"/> 調査 (対象の国の情報検索や企業探し、対象国の嗜好調査など) |
| <input type="checkbox"/> その他 () |

B インターンシップ生として受入れしたい

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 将来、正社員雇用する前段階的な研修として |
| <input type="checkbox"/> 海外出張や展示会に同行してもらう前の事前研修として |
| <input type="checkbox"/> 社内活性化のため・新しい意見やアイデアを得るため |
| <input type="checkbox"/> 企業PRの一つ、国際貢献の一つとして |
| <input type="checkbox"/> その他() |

インターン生受入れ期間について → 1週間 2週間 3週間
 1ヶ月 他()ヶ月

C その他の留学生人材の活用方法

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 従業員向け語学研修の講師など実務以外のところで活用 |
| <input type="checkbox"/> 国際交流や文化交流の必要があるときに活用 |
| <input type="checkbox"/> その他() |

7. 留学生の正社員雇用について・留学生人材についてのご意見や問題点、ご相談

[]

ありがとうございました。

大分経済同友会 国際委員会

〒870-0021 大分県大分市府内町 3-4-20

大分恒和ビル 3階

TEL : 097-538-1866 Fax : 097-533-5558

NPO 法人 大学コンソーシアムおおいた

〒874-0926 大分県別府市京町 11-8

大分国際交流会館 1階

TEL : 0977-73-9300 Fax : 0977-73-5600